

融合学域 先導学類

【授与する学位】学士（学術）

<p style="text-align: center;">大学（大学院）の目的</p> <p>金沢大学は、教育、研究及び社会貢献に対する国民の要請にこたえるため、総合大学として教育研究活動等を行い、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p style="text-align: center;">学類（研究科）の教育研究上の目的</p> <p>融合学域は、広範な分野にわたる教養と文理融合の知見を醸成し、課題発見・解決の知を展開することで、地域と世界に貢献することを理念とし、知識集約型社会で中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材を養成することを目的とする。 先導学類は、地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身に付けた社会変革を先導する人材の養成を目的とする。</p>
---	---

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<p>【卒業認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</p> <p>社会変革を先導するために必要となる多様な知見を身に付けた上で、その知見を活用した思考力・発想力・実践力を獲得する。</p> <p>その成果として、本学類が掲げる人材養成目標及び金沢大学（グローバル）スタンダード（KUGS）を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（学術）の学位を授与する。</p>	<p>【教育課程編成に関する基本的考え方】</p> <p>卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できるよう、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程を編成する。</p> <p>専門教育科目には以下の科目群を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒト・モノ・コトに関する基礎的・応用的な知見を多様な情報の収集・分析から修得するために「学域GS科目」を設け、総合知に資する多様な専門スキルを学修する科目を配置する。 ・自己の使命を果たすべく国際社会で積極的に発信する力を修得するために「学域GS言語科目」を設け、到達目標を定めて学修するEMI（English-Medium Instruction）科目を配置する。 ・アントレプレナーシップを醸成し、社会展開に向けた発想力や実践力を獲得するために「実践科目」を設け、演習等を中心とした科目を配置する。 ・知の飛躍に向けて必要となるイノベーションの根幹と、未来課題に係る多面的な最新知見を修得するために「コア科目」を設け、さらに3つのコアエリアに区分し、科目を配置する。 ・未来課題の解決に資する知見を獲得するために「学知科目」を設け、多様な分野の科目を配置する。 ・国際社会における最新の知見や他者との共創による新たな知見の獲得のために「鍛練科目」を設け、海外留学や国際インターンシップ、グループワークを行う演習等を中心とした科目を配置する。 ・修得した多分野に渡る知見を基に課題発見・解決や事業創造を含めた社会展開を主体的・計画的に行うために「確立科目」を設け、手法や理論を体系的にまとめる科目を配置する。 	<p>【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</p> <p>あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等が国力の維持や強化に耐えられなくなりつつある。</p> <p>多様な脅威にさらされるこれからの社会では、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、社会の各界で『未踏のイノベーションの創成をリードする中核的リーダー』となる人材が不可欠である。</p> <p>そこで、各学類の目的を見据え、卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できる資質を有し、次のような意欲ある入学者を求める。</p>
<p>【学生が身に付けるべき資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会変革を先導するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力 ・未来課題を理解し、ヒト・モノ・コトに関する多様な情報を収集・分析する力 ・総合知を背景に課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力 ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力 ・事業創造等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力 	<p>【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</p> <p>1. 教育内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学域GS科目：主に1年次で、学修の始期に修得が必要な専門基礎を学ぶ (2) 学域GS言語科目：主に2～3年次で、学修の強化に必要な英語を学ぶ (3) 実践科目：主に2～3年次で、アントレプレナーシップに係る知見・実践を学ぶ (4) コア科目：主に2年次で、コアエリアの根幹と未来課題を学ぶ (5) 学知科目：主に3年次で、コアエリアと関連する知識を体系的に学ぶ (6) 鍛練科目：主に3～4年次で、多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学ぶ (7) 確立科目：主に4年次で、課題発見・解決を計画的に進め、結果を収束し先導につながる手法を学ぶ <p>2. 教育方法</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合知に資する多様な専門スキルを学ぶ「学域GS科目」で、ヒト・モノ・コトに関する基礎的・応用的な知見を多様な情報の収集・分析から修得する (2) 自己の使命を果たすべく国際社会で積極的に発信する力を到達目標を定めたEMI（English-Medium Instruction）科目の「学域GS言語科目」で修得する (3) 演習等を中心とした「実践科目」で、アントレプレナーシップを醸成し、社会展開に向けた発想力や実践力を修得する (4) 知の飛躍に向けて必要となるイノベーションの根幹と未来課題に係る多面的な最新知見を、3つのコアエリアを擁する「コア科目」で修得する (5) 多様な分野を擁する「学知科目」で、未来課題の解決に資する知見を修得する (6) 海外留学や国際インターンシップ、グループワークを行う演習等を中心とした「鍛練科目」で、国際社会における最新の知見や他者との共創による新たな知見を獲得する (7) 手法や理論を体系的にまとめる「確立科目」で、多分野に渡る知見を基に課題発見・解決や事業創造を含めた社会展開を主体的・計画的に修得する 	<p>【求める人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人 ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人 ・最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな先導に挑戦したい人
	<p>【学修成果の評価】</p> <p>【融合学域共通】</p> <p>本学は「厳格・公正な成績評価の基本方針（平成30年12月21日教育研究評議会決定）」に基づいた成績評価を行っており、本学類においてもこの方針に基づいた成績評価を行う。</p>	<p>【選抜の基本方針】</p> <p>【融合学域共通】</p> <p>■一般選抜 文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、先導学類では国語、英語に加え、数学又は総合問題を、観光デザイン学類及びスマート創成科学類では数学、英語に加え、国語又は総合問題を、それぞれ課して学力を多面的に評価します。</p> <p>理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。</p> <p>■KUGS特別入試（総合型選抜） 基礎学力に加え小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。</p> <p>■KUGS特別入試（英語総合選抜） 基礎学力に加え、英語による総合的な課題（総合問題）、口述試験（プレゼンテーションを含む）を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。</p> <p>■超然特別入試（A-lympiad選抜） 口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。</p> <p>■超然特別入試（超然文学選抜） 口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。</p> <p>■在外留学生推薦入試 口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。</p> <p>■社会人選抜 小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。</p> <p>■帰国生徒選抜 国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。</p> <p>■国際バカロレア入試 出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。</p> <p>■私費外国人留学生入試 基礎学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。</p>
		<p>【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</p> <p>【融合学域共通】</p> <p>文系・理系にこだわらず、様々な教科・科目について偏りなく学習し、到達度をより高めておくことが必要。</p>